

ボ ラ ス
VOLAS利用ガイド（団体編）

学生グループによるボランティア活動スペース利用の手引き

（2024年3月改訂）



東京外国語大学ボランティア活動スペース VOLAS (Volunteer Action Space)

東京外国語大学 府中キャンパス 研究講義棟 206-1号室

東京外国語大学のボランティア活動スペース（VOLAS）は、ボランティア活動を行う外大生の個人もしくはグループによるボランティア活動を支援しています。

グループ活動の場合は、「VOLAS利用団体」として登録することにより、ミーティング・スペースやロッカーの利用、機材や文具類の貸し出しなど、いろいろなサービスが受けられるほか、他の利用団体と共同で、新メンバー募集のための説明会を開いたりすることもできます。

この利用ガイドは、VOLASをより多くのグループに公平に利用してもらうためのルール等をまとめたものです。皆さんのグループの活動をより活性化、充実させるために、VOLASを上手に利用してください。

1 VOLASを利用できるグループ

次の3つの条件をすべて満たすグループであれば、VOLASを利用することができます。

- ・ボランティア活動を行う3人以上の学生グループであること
- ・代表、副代表が外大生であること。
- ・活動の中心となるメンバーが外大生であること

必ずしも東京外国語大学の「公認サークル」である必要はありません。災害被災地の支援活動やイベントの企画・運営のように、「期間限定」で活動する団体でも構いません。また、一般の体育系サークルや文化系サークルがボランティア活動を行う場合（例：福祉施設のイベントに協力するための打合せや準備作業）にも利用できます。

2 グループの登録について

グループでのVOLASの利用を希望する場合は、まず、「VOLAS利用団体」として登録してください。

- ・登録の申請（初回）は、年間を通じて随時受け付けます。
- ・登録の期間は4月～3月の1年間です。継続して利用する場合は、3月に再登録の手続きをしてください。
- ・登録に必要な情報は、次のとおりです。

代表者の氏名・学部・専攻・学籍番号・連絡先（メールアドレス、電話番号）

副代表の氏名・学部・専攻・学籍番号・連絡先（メールアドレス、電話番号）

顧問の氏名・連絡先（メールアドレス、電話番号） ※顧問がいる場合

活動の趣旨、活動内容、活動場所等

団体のウェブサイトやSNSアカウント、連絡先（メール・アドレス等）

- ・登録の申請をしても、条件が合致しない等の理由で認められない場合もあります。
- ・代表、副代表の交代や連絡先の変更等があったときは、なるべく早くVOLASに知らせてください。
- ・グループが解散したとき、VOLASの利用にあたって他のグループに迷惑をかける等の問題

があった場合には、登録を取り消します（VOLASの利用はできなくなります）。

3 利用団体連絡会議

- ・ 4～6月、10～12月に月1回程度、利用団体の代表者（代理出席も可）とVOLASスタッフによる連絡会議を行いますので、参加してください。
- ・ 連絡会議では、各グループ及びVOLASの間で情報を共有し、広報や共同企画、VOLAS利用方法の改善等について話し合います。

4 共同企画

年に1～3回程度、新年度の始まりやオープンキャンパス等の機会を利用して、VOLAS利用グループが共同で説明会、展示、ワークショップ等を企画、運営することがありますので、参加、協力をお願いします。

5 ミーティング・スペースの利用について

- ・ 2週間前までにVOLAS内の「予定表」に団体名を記入してください（原則として先着順）
- ・ 2ヶ月先まで予約できます。
- ・ 他のグループの予約がなければ、いつでも利用できます。
- ・ VOLASの企画や会議、その他の事情で利用できないこともありますので、ご了承ください。

6 教室の利用について

- ・ VOLASが利用申請を行うことによって、団体のミーティング等のために研究講義棟の空き教室を利用することも可能です。
- ・ 教室の利用を希望するときは、希望する日の1週間前までにVOLASに申し出てください。

7 掲示板の利用について

- ・ 研究講義棟1階の掲示板をVOLAS利用団体の広報等に利用できます。
- ・ 掲示板は、利用団体で自主的に管理し、譲り合って使ってください（利用団体連絡会議等で調整します）。

※掲示物には、VOLASの「承認印」が必要です。

8 VOLAS情報メールでの告知について

- ・ VOLASにメール・アドレスを登録している学生に、VOLASが送る「情報メール」で、団体の説明会、学習会等のお知らせを流すことができます。
- ・ 「情報メール」での告知を希望するときは、告知を希望する日の1週間前までにVOLASに「文案」を送ってください。なお、必要に応じて多少編集した上で流すこともありますので、ご了承ください。

9 団体用ロッカーの利用について

- ・利用団体が希望する場合は、VOLASにある団体用ロッカーを使用することができます。
- ・希望する団体の数が多い場合は、4月の利用団体連絡会議のときに抽選を行います。抽選に漏れた団体は、ただちにロッカーの中身を撤去してください。4月末までに撤去されない場合はVOLASで処分します。
- ・ロッカーには、グループの活動で使用する道具類を保管することができますが、飲食物や危険物は入れないでください。

東京外国語大学が考える学生ボランティア活動

東京外国語大学では、ボランティア活動を、以下のように捉えています。

人には、市民社会の一人一人の個人の幸福を追求する権利があります。したがって、ボランティア活動とは、自らが市民社会の一員であるという自覚に基づき、他者の幸福の権利にも配慮することで、幸福の追求を阻害された人々に対して、そのニーズに応じて、主体的、自発的に行動し、他者と連帯していくことです。

東京外国語大学は、ボランティア活動を学生の重要な学びの機会と考え、教育活動の一環としてとらえています。そして、ボランティア活動を通じて、以下の資質・能力を養うことを方針として、大学として活動を支援します。

1. 主体性の涵養: ボランティア活動は学生の自発的で主体的な活動です。みずから問題を発見し、それに対処し、解決への道筋を見出す能力を養います。
2. 市民社会の一員としての自覚: ボランティア活動を通じて、市民社会の一員としての自覚を育みます。
3. 多様な視点から実践的な知を育む: ボランティア活動は、ニーズに応え、何が必要かを考え、行動することを通じて、学術的知に加えて、実践的知を育みます。
4. 世界の諸問題を自分の社会の問題として考える力: ボランティア活動は、地球(日本の国内・国外)のすべての地域とのつながりを感じることで、地球市民としての自覚を育みます。

以上の理念に基づいて、東京外国語大学はボランティア活動スペース(VOLAS)を設置し、全学的に学生ボランティア活動を支援します。

《ボランティア活動スペース VOLAS》

場所 研究講義棟 206-1 号室

学生対応日時 月曜日～金曜日 10時～16時30分

※祝日、夏季一斉休業日を含む期間、年末年始は除く

※変更がある時は掲示・HPで連絡します。

電話：042-330-5428 / E-mail：volas@tufs.ac.jp

ホームページ：http://www.tufs.ac.jp/student/extraordinary/volas.html

Facebook ページ：https://www.facebook.com/volas.tufs/

Twitter ページ：https://twitter.com/volas_tufs

ホームページ



Facebook



Twitter

